

検査値の見方

2017.11

検査項目		解説	参考値	単位
WBC	白血球	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示すほか、薬剤の影響も反映されます。1日の中でも変動があり、朝少なく夕方多くなります。運動やストレスでも一時的に増加することもあります。年齢によっても正常値は異なります。	男性 3.90-9.80 女性 3.50-9.10	$\times 10^3 / \mu\text{L}$
Neu	好中球	白血球の中のひとつの血液細胞です。外部から侵入してくるウイルスや細菌から守る為の免疫システムでもあります。多数の薬剤が好中球の減少に関係するため薬剤の副作用を確認するために測定することもあります。	40-74	%
Hb	ヘモグロビン	赤血球中に存在する色素で、体内に酸素を運ぶ役割をしています。貧血や多血症を推測することができます。	男性 13.5-17.6 女性 11.3-15.2	g/dL
PLT	血小板	出血した時に血栓を作って出血を止める働きがあります。血小板が少ないと血が止まりにくく出血しやすくなります。出血傾向がある場合にその原因を探索するための検査の一つです。	男性 13.1-36.2 女性 13.0-36.9	$\times 10^4 / \mu\text{L}$
PT-INR	プロトロンビン時間	出血を止める作用をあらゆる血液凝固因子の一つです。手術前の検査、肝機能障害など凝固因子異常を疑われるときや、特定の薬剤を使用している時に効果を確認するために測定します。	0.8-1.2	
T-Bil	総ビリルビン	赤血球を分解し体外に排出する過程で作られる物質です。黄疸の確認に使用することがあります。	0.3-1.2	mg/dL
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	アミノ酸の代謝に関係している酵素です。肝臓、心臓等の障害の指標となります。	10-40	U/L
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	アミノ酸の代謝に関係している酵素です。肝臓の障害の指標です。	5-40	U/L

検査項目		解説	参考値	単位
ALB	血清アルブミン	栄養状態、肝・腎障害などの指標に用います。	3.8-5.2	g/dL
BUN	尿素窒素	腎機能の指標となります。体内で蛋白質が分解される過程で最終的に作られ尿中に排泄される、尿素に含まれる窒素の量です。腎機能が低下すると尿への排出が減少し血中の尿素量は増加します。	8-22	mg/dL
SCr	血清クレアチニン	腎機能、筋肉量の指標となります。筋肉で産生される物質で、毎日一定量尿中に排泄されますが、腎機能が低下すると尿への排泄量が低下するため、血液中のクレアチニンは増加します。	男性 0.5-1.0 女性 0.2-0.8	mg/dL
Na	ナトリウム	生体のバランスを保つために重要な役割を果たしています。	136-147	mEq/L
K	カリウム	生体のバランスを保つために重要な役割を果たしています。神経伝達や筋伸縮に関与しています。	3.6-5.0	mEq/L
Ca	カルシウム	生体のバランスを保つために重要な役割を果たしています。カルシウムの濃度を調整している臓器の障害を把握する指標となります。カルシウムは血液の凝固や神経の興奮など、生命活動において重要な役割を果たしています。	8.5-10.2	mg/dL
IP	リン	生体のバランスを保つために重要な役割を果たしています。カルシウム代謝とともにリン濃度を調整している臓器の障害の指標となります。	2.4-4.3	mg/dL
CRP	C 反応性蛋白	炎症やストレスを受けて産生されるタンパクで炎症や色々な病気の活動性や組織の障害の指標となります。	0.3 未満	mg/dL
CK	クレアチンキナーゼ	筋肉や脳に多く存在する酵素で、エネルギーの産生に関与しています。骨格筋や心筋、脳が損傷を受けると上昇します。	男性 60-247 女性 44-170	U/L
HbA1c	糖加ヘモグロビン	ヘモグロビンの一部に糖が結合したもので、採血時から 1~3 か月前の血糖コントロールの指標として使用します。	4.6-6.2	%